

(2024) 年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

() 児童館・学童保育所

	活動の基本目標（指針）	主 な 取 組 名	成 果 と 課 題
生活 援 助 機 能	安全・衛生の確保	外から帰ってきてからのうがい・手洗い指導、ハンカチ持参の指導、手の消毒指導、後片付け指導、遊びのルール決め、汗拭きタオル持参指導	同じ内容の取組ではあるが、1年生から3年生、4・5・6年生の発達に応じて年毎に理解をふかめさせ、力が身につくよう継続して取り組んでいる。手洗い、うがいに關しては外から帰ってきたら必ずできるようにコップを置き声かけをしている。徐々に定着してきている。各部屋の遊びで内容が重なった時には子ども同士で話し合いの場を持ち遊びの内容などを考える環境を整えることを心がける。片づけは1つの遊びが終われば片付けて次の遊びをするように声掛けをする。
	健康の管理・情緒の安定	ケガの予防指導、水分補給指導、傾聴	集団活動の場では何を守るべきなのか考えながら指導を重ねている。 年間を通して、また学童クラブの6年間をとおして何を獲得していけるようにするかという 長期的な視野をもって子どもたち・保護者の方とともに生活づくりをしていきたい。 また、統合育成においては、心配もあったが保護者や各学校とより深い連携ができたことで 子どもの安全と安心、人権を守りながら生活を送ることができた。注意事項を話す時などは耳を傾ける姿勢が見られる。
	基本的生活習慣の確立	宿題、おやつタイム、行事等みんなと一緒に活動	学童クラブは塾ではなく遊びが中心。宿題に集中できずすぐに大人を捕まえて一緒に取り組んでほしいという思いを持つ子どもが多い。集中して宿題に取り組める環境やスペースを作る改善していくべき。自分の帰り方などを各自で管理できるようにホワイトボードに名前マグネットを利用した物で示していく。ロッカーの整理整頓。児童館は遊びを通して健全育成を図る場というスペースがあるので各学校・保護者と連携して宿題のあり方などを検討する。
	社会生活技術の獲得	交通安全指導、火の用心指導	なるべく人通りの多い所を通っての帰館が望まれる。学校から児童館までの帰る道は毎日決まった道を通して帰りなるべく一人では帰らないように子ども達に指導。帰りが遅い子どもがいれば学校に連絡をし確認をとる。 交通ルールを守り常日頃から子ども同士で声を掛け合いながら生活をする。防犯、避難訓練など随時実施。
子 ど も 育 成 機 能	生活体験の拡大	季節行事、工作など エコに関する話	季節行事は毎年同じ取組であるが、子どもたちが喜ぶ、楽しい取り組みであるのはもちろん、どのような行事なのかどのような文化が行事にあるのか明確にして、子どもたちとともに学び伝えていくことが大切である。
	社会性の養成	野外活動、社会見学、お泊り会	館外活動を実施してきた中で、大学生が高学年・学童クラブの良い見本となり、身近な大人像を築いてくれているとともに障がいのある児童とない児童の架け橋となってくれている。その姿から学ぶものは子どもたちにとって大きい。 館外活動に参加をする大学生と子どもとの距離をちぢめるために事前オリエンテーションを通し、ふれあいの場をもち子どもの事を知ってもらう。子どもたちに企画段階から関わらし行事に対してもっと興味 関心を持たせる。
	自立の促進と自主性の尊重	入館式、卒館式、6年生を送る会など	保護者と一緒に児童館での様子や遊びなどを全学年から紹介をしてもらっている 入館式は3年生以上が司会や児童館紹介などを担当をし自立をする手助けを心かけている。 6年生を送る会では、子どもたちが決めた遊び内容で、みんなあそびを行い、6年生に児童館で楽しかった思い出を語ってもらいながら、みんなで過ごした時を振り返る機会にもなっている。もっと学生にも担当を振り分け事業に参加してもらおう。みんな遊びのなかで、子どもたちの多様性を互いに受け入れ、自分自身がとるべき行動を各々が考えながら楽しめていた。終わりの会ではもっと子どもが話に興味を持つような終わりの会になるようにしていく必要がある。
子 育 て 支 援 機 能	子育てに必要な情報の提供 と交換	保護者懇談会、各学校・保育所との子どもの情報共有 介助者、ボランティア懇談会、保護者情報交換	保護者会の参加が少ないのが課題ではあるが、個別懇談を実施した成果もあつてか保護者が児童館に出向いてくれる回数は増加している。個別懇談が当日参加できなかった家庭については後日必ず懇談を受けてもらっている。 来年度は保護者と子ども、保護者同士とのかかわり場を増やしていきたい。子育てについて語り合える関係づくりに、保護者の方の協力と連絡、広報の改善をはかりたい。 介助ボランティアへの子どもの情報共有や的確なアドバイスなどの対応ができるよう職員の資質向上が必要になる。
	子育ての仲間づくり		各行事のお手伝いなど保護者の方の参加が増えてきてはいるが保護者の方々が、保護者の方が中心となる地域の行事や児童館まつりの実行委員会などを発足していくべき。保護者が参加できる行事を増やしていく。 児童館側と密な連携をとって、地域の子育てネットワークを構築したい。保護者間との関係性も広げていく。
	子育てを支えるネットワーク 形成		家庭にも学校にも居場所のない子どもたちもあり、社会性を培う機会もうばわれている。 児童館が、子どもたちの居場所であってほしいと願う。 学校とは今まで以上に密な連携をとり、職員も研鑽・努力する必要がある。また、保護者との日頃のコミュニケーションを通じて、信頼をえなければ、ならない。 さらに来年度は、具体的なネットワークづくりを目指していきたい。

(2024) 年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動

行事名	実施回数	学童クラブ児童						登録外児童		ボランティア			その他	合 計
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1～3年	4～6年	中高生	大学生	大人		
(1) 生活援助機能 手洗い・うがいの指導 宿題 終わりの会 (2) 子どもの育成推進 入館式練習 4月開始	毎日 毎日 毎日 毎日 毎日													
入館式	1	19	11	9	15	4	1				3	1		63
避難訓練	12	240	198	62	48	18	12				38	21		637
お誕生日会	12	216	132	108	180	48	9				24	12		729
交通安全指導	1	17	12	2										31
実習生・研修生によるお楽しみ会														0
児童館でランチ	3	58	42	39	54	10	9	2						214
親子遠足(花背山の家)	1	4	1	2	3	1	1	12	3		4	10		41
ウォーターガンであそぼう	1	15	6	7	10	3			1					42
上賀茂神社作品展	7	15	11	3	21	7	7							64
ドッジ&ゲームフェスティバル	1	13	8	8	8	1	1							39
ブロックやんちゃフェスティバル	1	5	2	1	4	2	1	6	2			4	1	28
書初め会	1	18	8	5	8	2	2		1		1			45
環境紙芝居(立命館大学)	1	17	13	5	18	3	2	1	3		6			68
パラスポーツのつどい	1	10	3	1	2	1	2							19
各季節の行事														
こいのぼり工作	3	18	15	9	15	2	2	1						62
七夕飾り作り	3	19	14	11	18	2	2	1						67
クリスマス飾り作り	3	18	14	12	18	2	2	1						67
クリスマス会	1	17	10	11	9	1	2	6	1					57
スキー&雪あそび体験	1	20	8	8	13	2	2	1						54
6年生を送る会&練習	1	13	3	8	7	1	2			3	7	3		47
盆踊り練習														
北いきいき市民活動祭														
(3) 子育て支援機能	毎月													
学童クラブおたより発行	随時													
教育機関との懇談・見学	随時													
保護者個人面談	随時													
学生スタッフとの懇談	1													
保護者会&若狭説明会	随時													
新1年生説明会	1													

※注1 行事名は、(1)生活援助機能 (2)子ども育成機能 (3)子育て支援機能に分類して記入すること

※注2 2クラス以上の館所で、クラスごとで異なる取組・行事を実施した場合は、行事名と併せて、クラス名を記入すること

報 告 書

(楽 只) 児 童 館 ・ 学 童 保 育 所

内 容
・学校から帰ってきたら手洗い、うがい、消毒の保健衛生指導を行う。 ・1年生に関しては宿題時間を設けて学習習慣や学習の仕方などを身につける。 ・入館式に向けて歌の練習や司会・児童館クイズを担当にに分かれて練習する。 ・歌や遊びの発表、フラダンスクラブの発表。 スライドショーを見ながら児童館の行事説明をする各学校の先生も来館 ・地震や火災が実際に起きた時のことを予定し避難経路や避難場所の把握をする。安全な場所の把握など普段から身につける。 ・毎月お誕生日会をしました。この日のおやつは特別メニューになっている。 メッセージカードをお友だちからわたしてもらおう。 ・北警察署から来ていただき交通安全の話や危険な場所の話、防犯の話などをしてもらい交通安全について学ぶ。 ・年に1回実習生の受け入れをし最後の日の終わりの会の時間にお楽しみ会を企画してもらい楽しい時間を過ごす。 ・夏休みの金曜日を児童館でお昼ご飯を用意してみんなで食べる。高学年が用意を手伝う。 親子で一緒に焼きそばづくりをした後、アスレチックあそびを通して自然体験活動をした。 また他の保護者の方との交流の場でもあった。 ・園庭で夏ならではの遊びとしてウォーターガンを実施。暑い夏でも外でも思い切り体を動かして遊べるように工夫したイベントでもある。 ・高学年が切りえを担当し、低学年は絵具を使って周りを色づけした。 ・大宮西野山、柴野児童館とのドッジボールを通した交流会。 ・今年度は北文化会館で2部制によるブロックやんちゃまつりを実施。 各コーナーをグループでまわりステージ発表でダンスをを発表。 ・みんなで書きたい言葉を一枚の大きな和紙に筆で書いた後、「辰」の足形アートを周りにつけて、書道アートに挑戦した。作品は一月ほど玄関に飾って来館者が見てもらった。 ・環境問題について大学生が紙芝居やクイズをしてくれた。 ・共生館内での事業に参加。アイマスク体験や点字体験、ブラインドサッカーを体験。 ・各季節に合わせてその月の季節に合わせた工作をみんなで作る。 作った飾りや工作は児童館入口などに飾りお迎えにきていただいた保護者の方々に見てもらう。 ・クリスマスおやつをみんなで食べ、ゲームなどを楽しむ。 ・オハナリゾートでのスキー体験。スキー、ソリ遊びを楽しむ。 子どもたちがみんなあそびの内容を決めて、六年生最後のみんなあそびを仲間と楽しむ。 児童館での思い出などを振り返る機会にもつなげる。 ・地域の方が楽し夏祭りにむけて「盆踊り」を教えに来てくださり、伝統を子どもたちへ繋いでいく取り組み。 を 子どもたちが出して、交流した。児童館について知ってもらう機会にもつながる。 ・毎月保護者、各機関への発行。 ・入学前の保育所などへ訪問。各学期事の各学校との面談、訪問 ・保護者との個人面談。学校、家での様子や児童館での様子の情報交換 ・子どもとの関わり方等で困っていることがないかなどを確認や情報共有。 ・保護者への情報提供の場。若狭の海の活動前の説明会を保護者向けに行う。 ・入館する前の保護者への児童館説明。随時開催。